

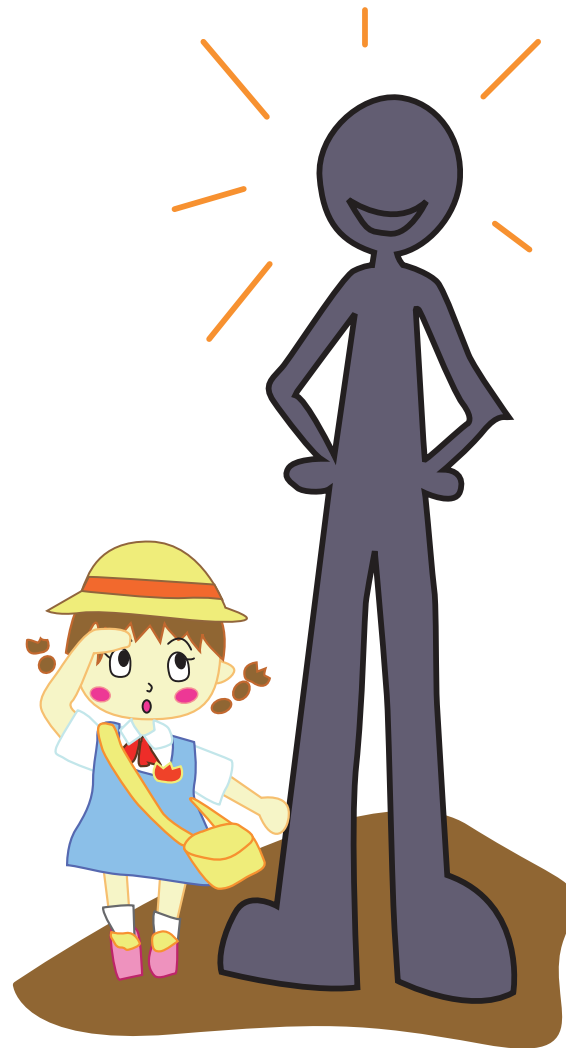
『コレスペハローワーク 2008 -大人になるってどんな感じ?-』

編集	会社を作る会 (仮)
デザイン	こだわりのイラストレーター OSAMU
発行日	2008年10月
発行者	コレクトスペース SUNSUN koresupe33@gmail.com http://koresupe33.dtdns.net/museum/index.html

本内容に関するお問い合わせは上記宛てに e-mail でお願ひします。

©aLL 2008 無断転載禁止

コレクトスペースハローワーク



～大人になるってどんな感じ?～

巻頭言

『コレスペ』という愛称で親しまれるようになった、『コレクトスペース SUNSUN』も2006年6月からのプロジェクト開始より、はや2年が過ぎました。

それまで「いったい自分はなにをしたらいいの？」と戸惑いを隠せなかった卒業生も、自分自信の存在に期待を抱けるようになってきています。

現在、コレスペの活動は、ただ仕事を待っているのではなくて、多くの仲間が頭を付き合わせて、それぞれの個性をぶつけ、「おもしろさ」を産み出していく新たな仕事のスタイルを生み出しました。一人ではできないことは限られています。コレスペの新しいステージが始まりました。

これまで、メンバーそれぞれが感じていたように、重い運動障害があると、職業へのイメージを持ってないまま卒業に向かう場合が多いようです。そこで、すでに就労されていたり、職業ではなくても特技に秀でている方の、『こだわりの原点』を紹介していくことで、より多くの可能性を伝えることはできないかと考えました。

『13歳のハローワーク（村上龍 幻冬舎出版）』をご存じでしょうか？あまりに有名な書籍ですが、ちょうどこれの障害者版のような構成で考えています。名付けて「コレスペハローワーク」。

ネーミングはいま一つですが、これからの世代へ伝えたいメッセージは同じです。今回、八雲養護学校学校祭の場を借りて、『会社を作ろう会（仮）』のメンバーが中心となり、コレスペハローワークの紹介を兼ねて、自分たちの『こだわり』を形にしてくれました。

これからも、私たちは、多くの方のこだわりを記事にしていく活動を通して、このプロジェクトがこれからの若い世代の羅針盤になることを願っております。

2008年10月10日

コレクトスペース SUNSUNN 一同



「めざせ福祉機器マイスター～なべちゃんに聞きました～」 渡邊 竜一 編

Q. どんなことをしているの？

東京大学先端科学技術センター中邑研究室に所属し、国内外で販売される福祉機器の調査をしています。そのほかでは、福祉機器メーカーと新製品の共同開発を一緒にするなど、福祉機器に関することが僕の主な仕事です。

Q. なんで福祉機器に興味を持つようになったの？

東大の中邑先生の講演が高校2年生の時にあり、「障害者が自分の目線で意見をだし、本当の意味で使いやすい機器開発が必要」だという話にとっても刺激を受けたことがきっかけです。自分たちが意見を出すことで、与えられるものではなく、より良い機器を生み出せることを知りました。卒業後の進路では、福祉情報技術コーディネーターの資格習得を目指しました。



Q. 中邑先生の講義を聞く前では、将来なにをしようと考えていたの？

それまでは、3DCAD を使えるようになり、車いす等のデザインを仕事にしようと考えていました。しかし、CAD の資格をとるためには、年数がかかり実務経験も必要になるので、どうしようかと悩んでいる時でした。

Q. 卒業した頃と比べて、自分の変化に気づいた点がありますか？

卒業した頃は、これからの生活や活動のイメージを全く持たず、学校と違い時間割がないので、一日の過ごし方を自分で考えるのがとても大変でした。それでも、がむしやらに、一つ一つ形にしていくことで、やりたいことに取り組めるようになりました。

Q. 実際に福祉機器開発にたずさわって苦労する点は？

福祉機器は様々な障害を持つ人が利用するので、それぞれの障害の特徴を知り、どのように機器開発に還元できるかがポイントだと思います。自分は、機器を利用しているユーザー(当事者)の意見を、いかにメーカー側にわかりやすく伝えるかをよく考えています。誰が見ても同じ意味で通じなければ、良い情報にはなりません。あまり当事者の感情だけではなく、第三者的な目線でなければ伝わらないので、その部分を見極めるのが難しいです。

Q. 福祉機器では障害者からのニーズを調査して開発したとよく聞きますが、その割には売れる商品になっていない状況です。その理由はなんだと思いますか？

福祉機器はマーケットが大きいので、どうしても売れる製品というのはなかなか出ない傾向にあります。障害によっても使いやすさは違ってくるので、難しい面が多々あります。それらを改善するにはいろんな人に使えて、買い求めやすいものがあればとは思いますが、それらを両立するのはどうしたら・・・。とは考えますが正直に言えば、自分自身も分からないです。ですが福祉機器は売れるよりは、障害のある方(自分も含めて)のできないことを可能にしたいという思いで関わっていきたいです。

Q. 今の自分に点数をつけるとしたら、100点満点中何点？その理由は？

58点ぐらいかと思います。福祉機器の情報や、障害の知識については以前よりも分かってきましたが、まだ仕事として自分の考えを確立できているとは言い難くのが現状です。仕事の数をこなして、自分ならではの付加価値を付けなければと思っています。この点数が少しずつあがっていくようにがんばっていきたいです。

Q. これからどんなことをやってみたいですか？

最初の目標は「福祉情報技術コーディネーター3級」でした。今度は更に知識を身につけるために2級をぜひ取りたい！
自分の意見を周りに伝えて、いまの活動を広げていきたいです。

Q. 渡邊君にとって福祉機器って何ですか？

自分の生活する上でなくてはならないものだと思う。当事者だから見える目線を大切にして、取り組んで行きたい。自分たちが使いやすいものと他の障害を持つ人達が、使いやすさの違いをもっと考えていきたい。

今はまだ答えは見つからないけど、自分なりの答えを見つけて行きたい！

Q. 福祉機器の仕事はどれくらい儲かるのですか？

今の現状では一人で生活するくらい収入は難しいと思っています。一人での生活を考えるならある程度の安定した収入が入り、介護を受けながらも生活していけるような経済力がなければ生活するのは難しいと思います。自分自身も一人で生活したいと思っているので、そのためにもいろんな経験をし、スキルアップをはかり、福祉関係の仕事でやっていけるよう日々努力するしかないなと考えています

Q. 福祉機器に興味をもってもらうにはどうしたらよいと思いますか？

福祉機器は難しそう、使いこなすのが大変そうなど、初めて使う人にとっては手が出にくい存在だと思います。興味を持ってもらうようにするためには、福祉機器のことを理解してもらい実際に触れたり使ってみたりして、身近なものとして福祉機器を受け入れてもらうことが大事だと思います。身の回りにも福祉機器はあふれていて、身近な存在だということを理解してもらうことで興味を持ってもらえると思います！

Q. 福祉機器を仕事にする上で勉強しておきたい点を教えてください。

勉強したい点ではないかもしれませんが今後心得たいことは4つあります。

- ・ 福祉機器や障害の知識を高め、それを生かすこと。
- ・ 機器に興味を持ち、進んで情報収集ができること。
- ・ 当事者ならではのものの見方ができること。
- ・ いろんな人の話を理解し、柔軟な考え方ができること。

このことがしっかりできたときは、福祉機器についての何らかの答えが出たときなのではないかと思います。

Q. 在校生へのメッセージ

卒業してから、何をしていたらよいのか、実感が湧かないかも知れない。好きなことなど、まずは自分を知ることが大切と思う。そこから広がっていく。卒業生がやっていることも参考にして、何がやりたいのかを焦らないで見つけて欲しい。自分の将来は一つではなく人それぞれの道がある。一生懸命頑張ってください。

■ 編集後記

渡邊君の話を聞いて、福祉機器を開発することの難しさと楽しさがよくわかりました。今、自分が乗っている電動車いす一つとっても、どこのメーカーなの？スピードって何キロ出るの？と聞かれたすぐに答えられた人は何人いるのだろう…。そう思うと、もっと福祉機器について興味を持つことが仕事につながるのではないかと思います。

by マニアックなUMA(未確認生物)原田義孝

「～絵のソムリエ『青木 修』～」

青木 修編

毎日3つのスイッチで操作できる電動車いすでOT室に通っている”とてもまじめな会社員”のような存在の青木くん。

自称イラストレータとして活動している青木修さんにスポットをあてました。

Q. 今は何をしていますか？

名刺のイラストやコレスペコンテスト、写真からのトレースなどの絵を描いています。



Q. イラストを描くようになるまでのエピソードを教えてください。

二年前ぐらいに電動車いすのコントローラーの操作が難しくなり、田中先生に相談することになりました。それからスイッチの調整で何度か通うようになり、あるとき田中先生が「絵を描いてみないかい？」と声をかけてくれたので、せっかく声をかけてくれたし、やってみようかなと思ったのがきっかけです。

Q. 作業療法室に来るようになる前は、何をして一日を過ごしていたのですか？

訓練に言ってそれ以外の時間はぼーっとしていました。何もすることがなく暇でした。

Q. 卒業したばかりの頃と現在ではどんな心境の変化がありましたか？

卒業したばかりの頃は、これから何をしようかとあまり考えていませんでした。現在は、次から何をしようか考えるようになりました。

Q. 卒業したばかりの頃は、何をしようとあまり考えていないと話していますが、その当時は周りのみんなも同じような感じだったのですか？また、なぜそのような風潮だったと思いますか？

誰も進路の話はしていませんでした。だからこそ周りにも何をしようかという話はないし、自分も考えていなかった。今考えると“病院にいるから”と安心していただけに思う。働くって事を全く考えていなかった。

Q. 卒業の頃の進路指導では何をしていたこの話になったのですか？

そういう進路の話は全くありませんでした。

Q. 青木さんが学生の頃。卒業生、成人の人たちのイメージはどのようなものだったのですか？

学生の頃は、成人の人は時間があって好きなことができると思っていました。でも、実際に成人してみると意外と時間がないと感じた。学生のようにすぐには車いすには乗れない。

Q. 誘われて描きはじめてイラストですが、どのように好きになったか教えてください。

絵をいろんな人に見てもらえたりするのが嬉しくて、やりがいがあり好きになりました。描いた絵をもっとたくさんの人に見てほしいです。

Q. 次に何をしようかと考えるようになったとありますが、何かやってみたいと思う原動力に欠かせない要素を3つ教えてください。

①趣味を生かす ②おもしろさ ③興味

Q. もし、絵を描くおもしろさを、絵をおもしろく感じていない人へ伝えなければいけないとしたら、どのように教えていきますか？

まず、楽しむことを伝えたい。あとはあまりできないと思わないようにすることを伝えたい。

Q. 卒業後、青木さんと同じく、イラスト関連で仕事としていきたいと考えている人へ、在校中にやっておいた方がいいことを3つ教えてください。

①もっと絵について詳しく勉強する ②苦手なことを克服する ③とにかく絵を描く！

Q. 今のイラストの活動は、仕事ですか、趣味ですか？仕事と趣味の境界は何だと思えますか？

仕事に関しては、期日を守る。趣味は自由に好きなように描く。

Q. イラスト活動で、失敗した経験を教えてください。

洞爺湖サミットのロゴマークを応募して落選したこと。自分はまだまだこんなもんかと感じましたが、今度こそ周りの人に認められるような絵を描きたいと思った。

Q. これからどんなことをやってみたいですか？

ネットで応募しているイラストを描いたり、人物画の描き方の勉強をしたいです。あとはマンガを描いてみたいです。

Q. 青木さんのイラストに対するこだわりは何ですか？

あまり妥協しないできちんと描くことです。

Q. あなたにとってパソコンとは何ですか？

私にとってパソコンは体の一部のような物です。パソコンは手の代わりにしてくれるからです。



Q. 在校生へのメッセージをお願いします

みんなそれぞれ目標に向かって頑張っているの、みなさんも目標を見つけて頑張ってください。自分が楽しく取り組める目標を見つけることが大事だと思います。

■編集後記

今回初めてインタビューをしてみて思ったのは、聞きたいことをどう引き出すかが大事なことだということでした。自分ではその質問で良いと思っても、相手はその通りには答えてくれるわけではないということを学ぶことができました。

青木さんはイラストに対していつも真剣に取り組んでいて、その集中力は誰にも負けないようなものを持っていると感じました。僕は集中力がそんなに続く方ではないので、見習いたいと思います。今までの作品を見てみるとどれも色鮮やかでユニークなものばかりでついにこやかになってしまいます。これからもたくさんの絵を描いて“新たな絵の可能性”を発進し続けてほしいです。

by 多趣味の福祉機器ハンター 渡邊竜一

「 努力の画家 新保祐二 」

新保 祐二 編

Q. どんなことをしているの？

作業療法室で、似顔絵・風景画を、パソコンを使って毎日描いています。

Q. 今のように絵を描くようになったきっかけは？

学生の頃から絵を描くのがとにかく好きで、卒業後も、油絵等、病棟の制作活動やクラブで毎週描いていました。次第に、体が衰え介助の量も増え油絵を描く事が難しくなり、あきらめ何もしなくなり3年ぐらいが過ぎました。しばらく、他に自分には何があるのかと自問自答の日々が続きましたが、やはり小さい頃から親しんできた絵を続けたいと思うようになり、その頃ちょうどコレスペでパソコンを使って絵を描けることを知り、今度は絵筆をマウスに持ち替えてパソコンで描いてみようと考えようになりました。



Q. 絵のどんな点が好きですか？

絵をみて、どこかにいった気分になれるところが好きですね。また、風景を見たままではなく、全く違った例えば、木を足すなど、自分でちょっとした工夫を入れられる所がおもしろい。後は。。。当然、いろんな人に絵をみてもらうのも好きです。

Q. 絵を描く上で苦労する点は？

風景では、遠近感が難しい。。色遣いも難しく、思い通りの色が出せなく苦労しました。特に、自分の絵は、遠近感がおかしく、遠くがはっきりしていて、近くが逆にぼやけてしまうことがありました。そこで、おもいきってそれまでの描き方を捨てて、遠近感のはっきりした絵を参考に真似てみると次第に描き方がわかってきました。

Q. 先輩や同級生に、どんなアドバイスをもらいましたか？

自分は絵を描くとき、考えすぎてしまい、まったく描けなくなることがあります。いつも細かいところばかり気になっていましたが、大胆に描いていいと、アドバイスをもらったことがきっかけで、考えるよりは、絵を描いていったほうがよいと思うようになりました。

Q. 新保さんにとって、絵を描き続けることとは？

やはり絵とは自分の生きがいです。幼少期から描いているので、これからも描き続けて行きたいです。

Q. これからどんなことをやってみたいですか？

もっと沢山の絵を描いてみんなに見てもらえる様にしたいです。何もしないよりは散歩や絵を描く事が有意義で他に自分はどんな事ができるのか楽しみです。

Q. 絵を仕事にするとしたら？

仕事をすると考えると、やはり今は荷が重いと感じてしまいます。自分では、すらすらと描ける気がしない。今は趣味の延長と思いきり楽しんで描いているので仕事という考えを持たない事で描き続ける事ができました。それでも、一年前までは、何もしていなかった自分を振り返ると、これからたくさん作品を作っていく中で、自分に自信がついたときに、心から余裕をもって仕事として向き合えるのかな。。。

Q. 好きなこと・やりたいことを見つけるコツを教えてください。

まずは、興味を持つ。そして、自分でどれだけ、やれるか(絵とかを)を戸惑わず挑戦する。

Q. 在校生へのメッセージをお願いします

私の人生経験から伝えられることは、恐れず、自分でしたい事を自分で見つけて欲しいです。



■ 編集後記

今回新保さんにインタビューをしました。新保さんが卒業した頃は僕が卒業した頃と学校や病院の環境がかなり違っていたということを改めて知りました。そして卒業し体が衰え自分が好きな油絵が手で描くことが難しく、何もできないことがないとかあきらめの気持ちが出たことを知りました。パソコンとコレスペとの出会いが再び新保さんの中に眠っていた絵を描くという気持ちが蘇ったそうです。パソコンで大好きな絵を再び描くことができる新保さんはいつも有意義な生活を送っている様に感じました。これからも絵を色々描いてほしいです。

by まりもっこりな大学生 三宅貴史

「 夢へはばたけ!!～OSAMUの旅立ち～」

高橋 修編

Q. どんなことをしているの？

コレスペでは「コレスペハローワーク」を制作しています。たまにイラストとかも描いています。あと今は、少し休み気味なんですけど、学校の学習室の方で証券外務員 2種の勉強をしています。

Q. なぜ証券外務員2種の勉強をしようと思ったんですか？

高2の時の商業の選択授業がキッカケです。商業を教わったのが元証券マンの池田先生で、株の話聞いて「トレーダー」というものに興味が沸きました。その「トレーダー」の魅力は、パソコンと正しい判断力さえあれば、取り引きができる事です。こういうものなら「僕にも、将来的にできるのではないか」と強く感じたからです。それで証券外務員2種の勉強をするようになったのですが、ちょうどこの頃に法改正で誰でも取得する事が可能になり、これは僕に与えられたチャンスと思い挑戦しています。



Q. それまでは、将来何をしようと考えていたのですか？

あまり深くは考えていなかったのですが、中学の頃は、建築士になろうと思っていました。中学の総合の学習で、家を作るパソコンの操作をしことがあって、それが楽しかったのがきっかけだと思う。でも、建築士になるための勉強は頭がよくないと出来ないと感じて、厳しいと思ってやめてしまいました。

Q. 学校にいた頃はコレスペのことをどう思っていましたか？

あんまりコレスペを知らなかったのもあるのですが、絵を書いて仕事をしていると思っていました。実際に来てみると名刺であったり、マップ作りとか1人1人さまざまな活動している事を知りました。

Q. 学生の際は仕事に、どういうイメージがありましたか？

職に就くことは、すごい大変なことだというイメージがあります。僕らの場合、自分一人で仕事するのは厳しいので、そういう面が大変だと思います。でも自分の努力や周りのサポートなどがあれば可能なことだと思います。

Q. 卒業した頃と現在ではどんな心境の変化がありましたか？

卒業したばかりの頃は、不安は不安でしたがコレスペなどがあったので、とりあえずそこに行けばどうにかなるという気持ちでした。コレスペで仕事してみると自分のできることを探ることができました。今は、生活にも慣れてコレスペへ行くのが毎日の日課です。でもこれがない時代に卒業していたらどうなっていたのか、ちょっと怖いんです。毎日が暇で時間を持て余しますね。

Q. 同年代の方では、すでに、仕事や、大学を目指している方がいると思います。難しい質問ですが、僕らが、そうした同年代と同じように仕事をしていくとして、必要な要素はなんだと思いますか？

まずは対等にコミュニケーションをとることかな？あと、当たり前だけど請け負った仕事を投げ出さないと、責任をもってやること。

Q. これからどんなことをやってみたいですか？

学習室の方で証券外務員 2種の勉強をしているので、それに合格したいです。あともっとインタビューをしてコレスペハローワークの本を出版したいです。目標、印税生活。

Q. 好きなことが見つからないの克服方法を教えて！

好きじゃなくてもやってみて、「自分のレベルアップの為だ」と思ってやってみると、意外とよく思えるのでは？それでも嫌だった場合はやめてしまってもいいと思う。自分の場合、コレスペハローワークは苦手のコミュニケーションを克服するためにやったが、最初は嫌だったけどだんだんオモシロクなってきました。

Q. 在校生へのメッセージをお願いします

とりあえずコレスペに来て見て、自分のできることを見つけてほしいです。

■編集後記

初めてインタビューしたので最初は何を聞こうか色々考えました。僕はこういう仕事は苦手だったので、結構大変でした。こんな大変なことを高橋君はやっているんだからすごいなあと思いました。

by こだわりのイラストレーター青木 修

「自分にとって生き甲斐のモノ」

田村 忠規編

Q. 卒業した後、どんな活動をしていました？その時の気持ちも教えてください。

卒業後、障がい者が住みやすい家を設計するために設計士やCADの勉強をしていました。その内、勉強が行き詰まるようになると疲れがでてきて、だんだんとやる気がなくなってしまいました。正直言うと楽しくなかったです。

Q. 油絵を描き始める事になったキッカケは何ですか？

勉強が行き詰まるようになって、高校生の時に挑戦していた油絵に再会する事に決めました。油絵は色塗りが失敗しても何度も修正できることにとても魅力を感じています。色々と道具や描き方を改良しながら、6作品をコツコツと試行錯誤しながらも描き続けています。



Q. 油絵を描く道具で、工夫されている点を教えてください。

筆を指に固定して使い、アームにキャンバスに固定しています。さらに手首を天井からヒモで吊り、肘を箱にのせて絵を描いています。

Q. 油絵ではどういう所が難しいですか？

風景画や人物画(家族の顔)を中心に描いているのですが、色の使い方や混ぜ方が難しいです。人物画の時は、顔の形を作るのがとても難しいですね。でも経験次第で描くのが上達するので、日々鍛錬です(笑)。

Q. 油絵を描き始める前と後ではどのような気持ち・生活の変化がありましたか？

油絵を描く前は、やりたい事がなくて悩んでいました。毎日ヒマでなぜか漢字検定を受けてしまいました(笑)。油絵を描くようになってからは、作品を町文化祭へ出展したり、病院で個展などを開催して『素敵だね』とか『上手だね』といった声を聞いた事が印象的でした。あと描いた作品をホームページに載せたり、今までの作品を集大成としたカレンダーを作成・販売も経験することができました。

Q. 絵を好きになるコツがあれば教えてください。

コツとしては、絵には正解がないので下手でもいいから、自分が思う絵を描く事です。あと自分が教える立場なら、順番は関係なく好きなように自由に描かせますね。

Q. 油絵を描いていて、やめてしまいたいと思ったことはなかったですか？

体が辛い時や絵が上手く描けない時ぐらいですね。

Q. もし田村さんから油絵を無くしたら、何をされますか？

たぶん別な道に進むと思います。でも今は考えられないです。

Q. 絵を描くことを仕事にすることと、趣味の領域の差は何だと思えますか？

趣味は、自分のやりたいように描いてもOKですが、仕事は相手がいることなのでとも気を使います。領域の差は『気持ちの差』だと思います。

Q. 今後、油絵の活動をどのようにしていきたいですか？

『金森倉庫を描いて欲しい』との依頼があり、今はそれを楽しく描いています。今後はその作品の完成を目指していきたいと思います。

Q. 「これだけは学校の先生から在校生に伝えてほしい事」を3つ教えてください。

進路についてよく考える機会を作る事。本人がやりたいと思う未知のことに挑戦させる事。自分に自信を持つ

Q. 在校生へのメッセージをお願いします。

自分は何がやりたいのかを見つめ直して見て、できるかできないかは別としてやってみる事です。もしできなかったとしても、工夫次第でできるようになるかも知れません。皆さんもいろいろと挑戦してみてください。きっと、やりたい事が見つかるはずです。

■編集後記

今回、画伯「田村さん」にインタビューをさせていただきました。その中で僕が一番印象に残った言葉は「油絵は色塗りが失敗しても何度も修正できること」という言葉です。なんか人生を現してるように思ったのです。さまざまな事にできるかできないかは別にして挑戦し、人生の色塗りをしてみても、もしそれが失敗したとしても油絵のように何度も修正できるものだと思うのです。だからダメでもいいから何事も挑戦することが大切なのではないでしょうか？その失敗がいい味を出すのだと思います。僕も油絵の精神を忘れないでさまざまな事に挑戦して行きたいと思います。

by 孤高のインタビュアー 高橋修

「 駿介の Dream shooting 」

工藤 駿介編

Q. 今、何をして過ごしていますか？

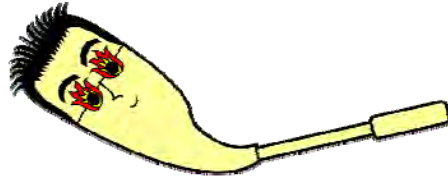
学校で経験した似顔絵や風景画を仕事として描いたり、好きなホッケーをしています。

Q. ホッケーを始めるきっかけは？また苦勞する点は？

高3から総合の授業で「卒業後に充実した生活を送りたい。」と始めました。

スティック部では、ホッケーは精神的に良くなり、ストレス解消に繋がる、肺活量UPが出来て心臓に良い、食欲増進といった

リハビリ効果の知識を熟知する事や、部員の募集、練習の為、三浦理学療法士さんに運動療法室を借りる事が大変でした。



Q. スティックホッケーの魅力ズバリ!!

味方と連携がとれた瞬間、パスでチャンスを作り、シュートが決められた瞬間やドリブルで相手を抜いた瞬間です！

Q. スポーツを始める上で壁となってくることは何ですか？5つ教えてください

- ・ 日時と場所や審判と介助の手を確保すること
- ・ 事前や当日の道具を準備すること
- ・ スポーツを希望する部員の募集や部員の調整があること
- ・ 体育館が寒くて手が冷えてしまい、あまり動かないこと
- ・ 体が寝た姿勢でホッケーをしていて、ボールが見にくいこと

Q. 卒業後と現在の心境は、どう変化しましたか？

- ・ 病棟での自由時間が増えました。
- ・ 行動範囲が増え、外出に友達と行ける様になりました。
- ・ 友達や運動療法室で理学療法士さんと会話する時間が増えました。
- ・ 車椅子に乗る時間が遅くなったが、絵を描く活動ができる時間が増えました。
- ・ スポーツリーグを実現する事が出来ました。

Q. 絵を描きはじめてのエピソードを教えてください。

高1の時、美術や自立活動の授業で風景画を描き始め、高3から似顔絵を描き始め、似顔絵のトレースをしています。そして現代社会の授業で世の中は甘くないという発言を聞き、働く事が大事だという事を勉強しました。そこで得意な絵を仕事として、親にお金をあげたいので働きたいと考え、描き続ける事にしました。その作品を色々な人に見せた時に「この絵、上手いね。」と声をかけてくれた事が嬉しかったです。僕にとって絵は色々な色を混ぜたり、自由に描けるので楽しいものです。

Q. これから、やっていきたい活動とは何ですか？

風景画や似顔絵等を手書きで描いたり、名刺作成をしていきたいです。ホッケーを毎日練習したり、積極的にホッケーに参加したい人に練習をしている所を見せて、やって楽しいよとアピールしていきたいです。スポーツリーグでスティックバスケ・ローボール、スティック野球をやりたいです。

Q. 在校生へのメッセージをお願いします。

スティック部を作るのに三宅博之君がボランティア集めを協力してくれました。

大人になると自分にとって、好きな趣味や仕事出来るので、まずは今までの経験を生かし、卒業生に話を聞きながら、やりたい事に挑戦してみてください。

■編集後記

「あなたは今？」というテーマで工藤駿介さんにインタビューし、編集を行いました。初めてインタビューして分かった事は、自分にとって、やりたい活動をまず、やってみる事が大切だと言う事です。そうすれば、重大なヒントが浮かび上がると思います。この気持ちを持って、色々な仕事に挑戦していきたいと思います。



by キャンパス界の苦勞人 田村忠則

「 チャレンジャータカシ 」

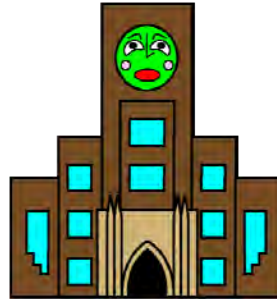
三宅 貴史 編

Q. 今なにをしていますか？

日本福祉大学通信教育学部1年生です。それと忘れちゃいけない、私のパートナーであるスティックホッケーです。今年で2年目になる八雲スティックホッケー一部スポーツリーグで毎週土曜、養護学校体育館でホッケー選手活躍しています。

Q. きっかけは？

5年前、高等部の入学と同時にフロアホッケーに出会いました。最初は、とにかくスポーツができることが嬉しく毎週の体育が楽しみでした。高校2年生のとき、障害者スポーツに興味を持ち、もっと、ホッケーやスポーツのことを知りたいと思い、障害者スポーツの仕事につきたいと思いました。そこで、学校を卒業後、日本福祉大学で福祉を学ぶために進学をしました。僕にとって、大好きなホッケーは勉強に繋がっています。



Q. 卒業したばかりの頃と今とではどんな心境の変化がありましたか？

卒業後すぐは、とにかく病棟生活に慣れるので必死でした。3年間過ごしてきた病棟生活でしたが、在校時と卒業時とでは、まるで生活が異なり何もかもが初体験でした。勉強以外何をしたらよいかかわからず、試行錯誤の毎日で焦りや戸惑いが多く、心も不安定で落ち着きがありませんでした。2年目の今は、大学の通信教育の学習に慣れるのに時間がかかり、2度、定期試験をパスしてしまいました。。今度11月に再度試験がありますが、これを逃がしてしまうと、留年の危機。。2年生に進級するため、そして、ホッケーを楽しむためにも頑張ります。

Q. 卒業後を見越して、在校時にしておいたほうがよいことを5つ教えてください。

- ・ 病棟の生活のリズムをしておくこと。
- ・ 進学することを考えている人は、自分の勉強のリズムを作っておくこと。学習室ばかりを頼っていると、試験の機会を逃がしてしまう！？
- ・ とにかく、なんにでもチャレンジする。
- ・ 職業体験はしておいたほうが、仕事がどういうものなのかを知ることができる。
- ・ 自分の好きなことのマニアになること。

Q. 今の自分をより成長させるためにどんな支援が必要だと思いますか？

勉強をいつして、仕事をいつするかなど、時間の使い方を考えたい。そして、もてあましている時間を何かをして埋めたい。

また、勉強やホッケーなど、同じ目標を持った仲間と一緒によりよく生活できるように考えることが必要だと思う。

Q. 在校生へのメッセージをお願いします。

迷っても自分が努力しなければ誰も協力してくれないが、自分で努力すれば誰かが協力してくれ、自分の生活だけでなく皆の生活がよくなる道が拓けることです。

■ 編集後記

今やっていることと明確にして頑張っているのだから続けていってほしいです。

by 伝説の画伯 新保 祐二



「よしゆきの バリアフリーマップ」

原田 義孝編

Q. 今何をしていますか？

バリアフリーマップの仕事です。

Q. きっかけは？

NPO 法人セラピアからの依頼をコレスペで受けたそうです。以前よりイラストレーターを使った仕事は請け負っていたので、誘われたら即OKでした。



Q. マップ作成というのどういう仕事なのですか？またこだわっているところは？

セラピアさんが、函館教育大などボランティアさんと一緒に函館地区すべてのバリアフリー状況を調査をしています。少しの段差や自動ドアの有無など、実際に調査地区を歩いて細かくチェックしています。今受けている仕事は、その地図に書き込まれた調査結果を、わかりやすくきれいなマップに仕上げる仕事になります。特に、字の大きさや読みやすさにこだわって何度も修正を繰り返しています。

Q. バリアフリーマップの他に今まで受けた仕事は？

医学書のカットです。写真をイラストにトレースすることで、より表現したいイラストに加工できます。そのほかは、コレスペコンテストに随時参加しています。また、福祉機器に興味があり、渡邊くんと一緒に企業の調査を請け負ったことがあります。



Q. 卒業したときは、どんなことをしていたのですか？

成人学校の七宝焼きをしていた。後は、とにかく、自分のやりたいことをしていた。

Q. これから卒業するみんなへのメッセージをお願いします。

卒業する前にやることを事前に考え、こういう人になりたいと気持ちを持って、自分の得意なことをどんどんやっていくことが大切。

■ 編集後記

義孝さんのすごく頑張っていることが伝わってきた。自分も同じようにいろんなことにチャレンジして最後まであきらめず頑張りたい。

by 炎のホッケー職人 工藤駿介

大人になるって？

「おとな。」

この言葉から、あなたは何を想像しますか？
年齢、責任、権利、自由、お金、義務、18禁解禁 etc・・・。
いろいろなものの見方や感じ方がありますよね。

われらがコレスペメンバーに「大人になる」ことについて聞いてみました。
実際の「おとな」が「おとな」について語ってみると、なかなか面白いもので、さまざまな価値観があることに気づかされます。

オギャーと赤ちゃんでうまれたあたまも、時間の流れとともにいつか「おとな」になる日がきます。
そのとき、どんな「おとな」になりたいですか？
そのために、今できることは何ですか？

ドラえもんや100万円を見方につけ、想像の風船をふくらませながら読んでみてください。
大人の本音がのぞけるかもよ(笑)

Q1. 大人なるとどんなことができるの？

・お金を自由に使える(好きなものが買える・高額。クレジットカード)	:12票
・お酒が飲める	:7票
・自分の好きなことができる	:5票
・仕事ができる	:4票
・自分のいったことに責任が持てる	:4票
・18禁が公に解禁(DVD、風俗)	:3票
・いいところは無い。なんないほうがいいよ。	:3票
・年金がもらえる	:2票
・車の免許が取れる	:2票
・選挙権	:2票
・一人の人間として自分の話を聞いてもらえる	:2票

- ・結婚 ・たばこ ・競馬 ・メイドカフェに行ける ・夜更かし ・名刺を渡せる
- ・勉強しなさいといえる ・威張れる ・通を気取っても生意気にならない
- ・コーヒーをブラックでと言ってもいい

Q2. 大人ってどんな感じ？

・寛大	:3票
・自分の行動に責任が持てる人	:3票
・しっかりした人	:2票
・自分の意見が言える人だと思います	:2票
・自分というものをしっかり持っている人だと思います。	:2票

- ・いやなことを顔にださない。すぐ怒らない。冷静でいられること。
- ・口先だけ。ずるがしこい。本音と建て前を使い分ける。せこく生きること。
- ・束縛されている。
- ・やさしい。子供にやさしい、器がでかい。

- ・自分の趣味を持っている人。
- ・お金がある。
- ・選挙権を持っている

Q3. 子どもが羨ましいと思うところは？

・泣いても、失敗しても許される(何事も親任せにできる)	:6票
・わがままになれる	:4票
・周りを気にしないこと(考えない)	:4票
・誰にでもしゃべれる	:3票
・純粹	:2票
・甘えられる	:2票

- ・おもいつきり遊べる。いたずらをいっぱいできる。取っ組み合いのけんかができる好きに遊べる。いきいきしている。あばれられる。
- ・かわいがられる。かわいいところ。
- ・子供は何でも許してもらえる 大人はセクハラとかうざいとか、きもいとか言われる。
- ・クリスマスプレゼントがもらえる
- ・小さなことでも褒められる
- ・夢があること

Q4. 大人と子どもの境界線ってどんなことだと思いますか？

・行動に責任が持てるようになったら	:6票
・自立したとき	:3票
・20歳(選挙権がもらえたら)	:3票
・人の痛みがわかるようになれば。	:3票
・意見を堂々と言える	:2票
・お金を自分で管理できる	:2票

- ・人がどう考えているかを感じ始めたとき
- ・他人を幸せにできたとき
- ・親に頼らなくなったとき。
- ・大人とか子供とかのこだわりが消えたとき。自分はまだまだこともだと言い切れたら、大人になれたときだと思う。
- ・相撲の奥深さがわかった人
- ・年金をもらえるようになる。
- ・自分の気持ち次第 ・口が達者になる、経験が豊富

Q5. 先輩に聞く！楽しく生活する5ヶ条は？

- | | |
|----------------------------|-----|
| ・趣味を極める(時間と費用を惜しまない)べし | :7票 |
| ・時に思いっきり遊ぶべし | :5票 |
| ・おしゃべりを楽しむべし | :4票 |
| ・常に笑顔でいることを心がけること | :4票 |
| ・パソコンを使いこなせ！ | :4票 |
| ・限られた時間をうまく使い生活にメリハリをつけるべし | :3票 |
| ・友達(悩みを打ち明けられる人がいること)は大切に | :3票 |
| ・テレビはほどほどに | :3票 |
| ・好きなものを食べる(お菓子、カップ麺)べし | :2票 |
| ・仕事(たまに小遣い稼ぎ) | :2票 |
| ・努力にまさるものはなし | :2票 |

- ・熱意。好奇心。根性。集中力。プラス思考。リラックス。楽しむ。
- ・音楽鑑賞(特にYUI) 本(漫画・小説) ゲーム 巨人 歌 女
- ・忙しい自分をつくる。
- ・周囲への気遣いが大切。
- ・人に感謝すべし
- ・学ぶ気持ちを忘れないこと。
- ・人とうまく付き合うこと。
- ・やりたいことをやる、
- ・外出する
- ・朝ご飯を食べる
- ・何でもいから夢をもつこと
- ・やりたいことをやりたいようになること
- ・休み時間
- ・うんと悩むこと
- ・約束を守ること



Q6. 卒業したから言える。コレだけはやっておけと思うことはなんですか？

- | | |
|---|-----|
| ・もっと勉強しておいたほうがいい！
(国語とか知らない言葉があるから。) | :8票 |
| ・今はまだわからない模索中
(考えたことがない。ひとそれぞれと思う) | :6票 |
| ・自分の好きなことを極めていくこと | :2票 |
| ・絵の勉強 | :2票 |
- ・福祉情報技術コーディネーター2級取得
 - ・卒後に使える資格を取る
 - ・とにかく自分を信じる。
 - ・聞く耳を持つこと。何かしら他人の言葉の中にいいことがあるかもしれないから

Q7. 卒業して変わったなあと感じることを教えてください。

- | | |
|------------------------|-----|
| ・物事をいろいろな視点でみれるようになった | :2票 |
| ・ふけた | :2票 |
| ・車いすに乗る時間が減った | :2票 |
| ・時間をもてあましていないこと(目標がない) | :2票 |
| ・病院の人と関わっている時間が増えた | :2票 |
| ・趣味の時間が増えた | :2票 |

- ・勉強しなくてよくなった。
- ・自分でいろいろなことをやるようになった。
- ・「待つ」ことが自然に感じていること。
- ・学校に行ってたほうが楽しい。学校ではやることがあった。
- ・お金を持てるようになった 物を買えるようになった 大人になった
- ・考え方がハードになった。
- ・先生がいない。当たり前だっつうの。
- ・パソコンで色々なことを調べられるようになった
- ・通信制の大学にいったこと
- ・特になし。変わったのは病院が大変になったくらい。



○在校生にもきいてみました

Q1. 1日の中で1番好きな時間を教えてください。

- ・ホッケーが楽しく一番好き。 :3票
(熱くなれる。終わった後はもの足りない。夢中にボールを追え気分スッキリ。終わった後負けたら悔しい、勝つと嬉しい。)
- ・パソコンでゲームをしているときが楽しく好き。
- ・ゲームしてる時、友達と話している時(友達と話していると楽しい)

Q2. 今の生活の中で、工夫していることを教えてください。

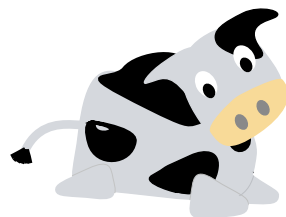
- ・ベット上でギャッチを起こし座っている。 :4票
- ・スティックの角度や形を使いやすくしている。 :4票
- ・出来る限りの事は自分です。
- ・車椅子乗車時は机の高さ調節。
- ・プリントを半分に折って読み書きしている
- ・孫の手

Q3. 卒業生の中で『こんな人になりたい!』と憧れる先輩は誰ですか?

- ・いない。頼れる優しい先輩に成りたい。 :3票
- ・渡邊竜一さんです。 :2票
(自分のやりたい事を見つけその目標に向け勉強したりして頑張っている。)
- ・在校では三宅博之君 :2票
(ホッケーのフィールドで皆に声かけで指示出来るプレーをするから。)

Q4. 卒業生はどんな感じ? 卒業生のイメージを教えてください。

- ・工夫して生活している。コレスペでパソコンを使って絵等をよく描けるなあと思う。
- ・勉強とか色々やっている。コレスペの活動は楽しそうできいききしている。
- ・凄いオーラ・迫力を感じ尊敬できる。
- ・自分の目標を見つけてる。
- ・熱心に自分のやることを頑張っている。



○おもしろ質問コーナー

Q1. もし、高校1年生に戻れたらなにをしたい?

- | | |
|------------------------------|-----|
| ・勉強をしっかりしたい(英語・歴史・パソコン・美術・詩) | :6票 |
| ・体育がしたい(体を動かしたい。カーリング。野球) | :5票 |
| ・絵しかない。 | :3票 |
| ・何もしたくない、絵を描きたい、勉強したくない | :2票 |
- ・学校祭の劇の主役をしたい。脇役ばかりだったから。
 - ・もう一度同じ同級生と一緒に行事をやりたい。
 - ・インフルエンザにならないようにして文化祭にでる。
 - ・すべてをやり直したい
 - ・進路を考えなおしたほうがいいよとアドバイスする
 - ・八雲高校のかわいい子をチェックしたい
 - ・編入試験を受ける
 - ・もっと積極的に行動すればよかった。
 - ・戻りたいのか? 学校行かないで戻るだけがいい。

Q2. もし、地球が明日なくなるとしたら何する?

- | | |
|--|-----|
| ・好きなかわいい人とデートして〇〇〇をする 結婚。 | :7票 |
| ・家族や親戚で宴会。今まで会った人とわいわい過ごす | :5票 |
| ・おいしいものをいっぱい食べたい
(寿司 カレー ステーキ 高級料理) | :4票 |
| ・犯罪をしてみたい、テロ、銀行強盗。タンクローリーで自爆 | :3票 |
| ・ゲームをやる(トランプ) | :3票 |
| ・そのときだけ病気が治る。 | :2票 |
- ・ごみをださない。
 - ・野球がしたい。
 - ・貯金を巨人のために使う。
 - ・アニメを見る
 - ・絵をかく。
 - ・映画を見る。
 - ・最後まで回避の方法を探す
 - ・じっと待つ



Q3. もし、100万円もらえたらなにに使う？(明日にはなくなる。)

・今すぐ旅行する(親子 スエーデン)	:4票
・パソコン買う。	:3票
・車いすを買う(クイッキー・カスタマイズ)	:3票
・宝くじを買う	:2票
・世界最大の液晶TV、	:2票

- ・自分家にリフトをつける。親と自分が楽。親の年齢をかんがえて。
- ・親にあげる。退職間近だから。
- ・講師を呼んで絵の勉強をする
- ・モーニング娘のコンサートに行く
- ・メイドカフェで全部使う
- ・電動アームや電動イーゼルを購入してアトリエを創る
- ・自分専用の電動ベッドと電動機を買う
- ・ラーメン食べる、
- ・音楽機材をかう、
- ・コーラを買いまくる。
- ・大きな家の資金にする・
- ・株をする
- ・ヘリをチャーターしてスカイクルージング。欲しいものを買う(高額商品)
- ・車を買う(ミニカーセット)
- ・恵まれない国へ支援する



Q4. もしドラえもんから3つ道具を借りれるなら何を借りますか？

・どこでもドア	:18票
・スモールライト	:11票
・タケコプター	:8票
・タイムマシン	:5票:
・ほんやくコンニャク	:3票
・タイム風呂敷	:2票
・もしもボックス	:2票

- ・ビックライト ・空気砲 ・人形
- ・四次元ポケット:これでドラえもんの道具を独り占め

*スモールライト:移動しやすくするため :いっぱいものを置ける。自分をのせるため(自分を小さくできる)物をしまふ場所が狭いから

*どこでもドア:どこでも行けるから。:燃料を使わない地球に優しい暮らし すぐ家に帰るすぐ医事・会議室・トイレにいける。

*翻訳コンニャク:世界の人(ドイツ・イタリア)と話したい。サッカー・パスタ・ウインナーを食べてみたい。

*タイムマシン:過去の国家指導者をなんとかする。いなくなった人に会いたい

Q5. もしもボックスがあったら何を頼む？

・みんなの病気が治りますように。 (やっぱ、病気(体)のことでしょ。)	:6票
・福祉がよくなる世の中にしてもらう	:2票
・無駄のない争いのない世界にしたい	:2票
・頼まない。ことわる。	:2票

ガンダムのパイロットになる 健常者で10歳くらいからやりなおす
会社の社長 好きな子が彼女だったら
宝くじで3億あたることをお願いします 巨人選手
旅行に連れて行って 温暖化を止める。
ゲームやりやすいように。

八雲ホッケーすごろく2008

